

蒲生干潟の地形調査と七北田川河口の様子



図1 GPS簡易測量結果
 (地理院地図を加工して作成)



図2 七北田川河口(1/22)



図3 七北田川河口(2/26)

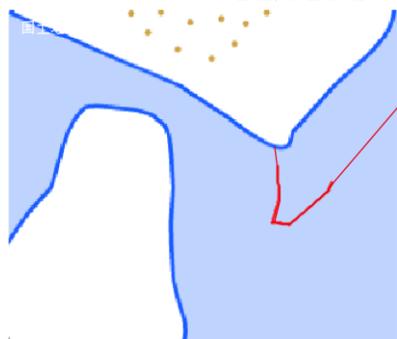


図4 七北田川左岸砂州の形状(1/22)

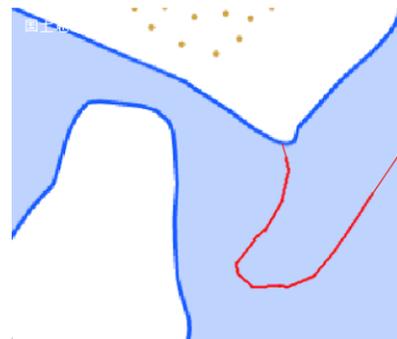


図5 七北田川左岸砂州の形状(2/26)



図6 動物の足跡の様子

調査日 2026年1月22日 (木) 14:00~15:30 ※干潮時刻11:50 (潮位67cm) 干潮時刻17:22 (潮位138cm)
 2026年2月26日 (木) 9:50~11:20 ※満潮時刻 7:55 (潮位132cm) 干潮時刻19:15 (潮位16cm)

図1は、GPS簡易測量による1月22日の汀線である。七北田川河口は、1月22日には右岸砂州が大きく張り出していたが、2月26日は右岸砂州が見られなかった(図2,3)。図4,5は、左岸砂州の形状をGPSで簡易測量をした結果である。2月の方が大きく張り出していることが分かる。潟湖周辺に見られたタヌキと思われる動物の足跡は、2回の調査でそれぞれ複数の箇所から見られた(図1)。また、2月の調査では糞も確認できた。

(門脇 駿)